

## 背景・課題

- ✓ 大阪の成長を支える分野で人材不足  
製造・運輸・建設・インバウンド（4分野）
- ✓ 女性、若者の就業率が低い
- ✓ 非正規率が高い



人材不足分野の労働環境の整備や魅力発信を図るとともに、女性や若者の職種志向を拡大し、この分野への安定就業と中小企業の人材確保を支援

## 地プロ活用事業（R1～3）の取組み成果と課題

成果をあげたが、課題も発見

- ① 業界団体などとの公民連携体制による取組み  
⇒ ○ 機運醸成や、業界の自主的な取組みを推進できた
- ② 企業には、魅力発信や採用・定着力向上、働き方改革を支援  
⇒ ○ 多数の企業にノウハウ提供、人材確保につなげた  
× 求める人材像が必要以上に高い企業では求職者とのミスマッチが発生
- ③ 求職者には、カウンセリングやセミナー、有償OJTを実施  
⇒ ○ 志向転換し4分野に就職 2,560人（うち良質1,117人）（R3.10.18）  
× 長期OJTは企業、求職者とも参加のハードルが高い

## コロナ禍による雇用情勢、企業や求職者のニーズ変化

- ① 雇用情勢が一気に悪化。雇用の早期回復が必要に  
⇒ 女性や若者、非正規が特に悪化。早期安定雇用が必要に  
\* 完全失業率 全国ワースト2位（令和3年7月～9月）  
⇒ 業界により異なる影響に、きめ細かく対応する必要
- ② 求職者の就職に対する不安感、不透明感が増大  
⇒ 人材ニーズの高い分野へのキャリアチェンジが必要  
⇒ コロナ後を見据えたスキル・自信を付与する必要

- ③ ニューノーマルへの対応  
⇒ WEBを本格活用した効果的な支援方を講じる必要  
⇒ デジタル化でニーズが高まるDX人材の育成や確保が必要  
\* 情報通信における人材確保支援
- ④ 2025年 大阪・関西万博への対応  
⇒ 万博に向け、発展が期待される分野、準備の加速化を下支えする分野の人材確保が必要  
\* 製造、情報通信、運輸、建設、インバウンド関連分野

これまでの取組みの課題やコロナ禍により生じた新たなニーズに対応するため事業を抜本的に見直し

- これまでの取組みの課題、コロナ禍により生じた新たな課題やニーズの変化を踏まえて支援メニューを見直し、再構築
- withコロナからpostコロナ、さらには2025大阪・関西万博を契機とした成長に向け、これまで培ってきた公民連携体制を活かして、雇用の再生と人材活躍をめざす
  - ↳再生と成長を下支えする**建設業、運輸業およびインバウンド関連分野**、イノベーションが期待される**製造業**に加えて**情報通信業**の再生と発展を人材面で支える必要
- 以下の取組により、企業・求職者の満足度の高いマッチング支援を実施。ミスマッチを解消し、良質安定雇用を実現していく

- 【事業主支援】
- ・独自の**企業診断システム**を活用した**人材採用課題の可視化**に加え、**専門家等の個社支援**を新たに実施し、企業の状況に応じた**課題解決や人材要件の見直し**をサポート
  - ・可視化した**課題の解決に資するノウハウ提供**や、**求職者との交流の機会**を通じた**人材要件見直しイメージの具体化**を支援
  - ・**DX兼務人材**※の採用意欲向上 ※営業や総務人事等に従事しつつ、社内でDXを推進する際に活躍できる人材

- 【求職者支援】
- ・コロナ禍において志望先が不明確になるなど手厚い支援が必要な求職者を支援するため、**キャリアカウンセリング**に加え、**様々なしごと体験とスキルアップ**を通じた**キャリアチェンジ、適職発見サポート**を実施
  - ・就職力の向上、実務に必要なスキルアップ支援を実施

- 【マッチング促進】
- ・交流会やしごと体験による**面接・履歴書に依らない人物重視のマッチング**、企業発信による**オファー（スカウト）**機能を活用した多様なマッチング機会の創出

